

1. 講義の主旨

本講義の目的は大きく二つある。

ひとつは、まちが継承してきたものを如何に次に継いでいくのか、という点を考える。

もう一つは、事例の調査から研究論文とするプロセスについても考える。

その二点について、理解を深めてほしい。

2. スケジュール

■5月16日：窪田

- ・ 本講義の趣旨
- ・ まちにおける継承
- ・ 必読論文や参考文献の紹介
- ・ レポート課題の出題

■5月23日：柏原沙織先生（東京大学研究員）「アジアにおける界隈保全」

- ・ アジアの界隈保全の動向（保全の対象の広がり）
- ・ ハノイにおける街並みを対象
- ・ 商業集積・賑わいの変容、老舗の継承、変化の中で「継承すべきもの」を見出す視点を論じる
- ・ 店舗調査（景観、商品、アンケート調査）、インタビュー調査などから、どうやって研究にするのか

■5月30日：石山千代先生（東京大学研究員）「日本の町並みにおける保存と継承」

- ・ 日本の町並みを取り巻く昨今の動向
- ・ 妻籠宿における町並みを対象
- ・ 町並みや環境の変容を通じて、住民憲章や自主規範の形成とその後の変化の関係を論じる
- ・ 保存と継承の「対象」及び「方法」を検討・調整する仕組みの構築を論じる
- ・ 様々な委員会の議論や審議の記録、発行物と当事者の証言などから、どうやって研究にするのか

◆6月5日：レポート提出

■6月6日：窪田

提出したレポートは、全員分のハードコピーを用意して持参してください。

それをふまえて各自が発表して議論します。

3. 評価

点数は、提出レポートと発表や議論の内容に基づいて、採点する。

レポート提出はメールにて窪田まで提出、締め切りは6月5日23:59厳守。

窪田亜矢： ak@td.t.u-tokyo.ac.jp